



株式会社フォーディー・ジャパン 4D Server v11 SQLをリリース

次世代データベースエンジン'DB4D'・マルチプロセッサ対応・ネイティブSQL

2008年6月25日 東京 - 株式会社フォーディー・ジャパンは、本日、「4D Server v11 SQL」のリリースを発表しました。4Dは、Mac OS XおよびWindowsで動作するクロスプラットフォームビジネスアプリケーションの開発から配付までを飛躍的に短縮できることで知られるフランス製の革新的な統合ソフトウェア開発フレームワークであり、リリースされた製品は、4D v11 SQLで実装された新しいネイティブSQLを有する主力製品のサーバ版です。同バージョンでは、4D Serverのあらゆる機能が全面的にオーバーホールされ、パワー・処理速度・容量のすべてが飛躍的に向上しました。管理方法・利便性・インターネット関連の機能も大幅に強化されています。

「4D v11 SQLは3年間に及ぶ開発努力の集大成です。4Dの中核部分は完全に生まれ変わりました。」と4D社代表で創始者のロラン・リバルディエール (*Laurent Ribardière*) は語ります。「サーバ版のリリースにより4Dは新しい時代に突入しました。ビジネスアプリケーションはこれまでにないパワーとスピードの恩恵を受けられることになりました。」

新しいデータベースエンジンは、マルチプロセッサ/マルチコアのマシンであれば、さらに威力を発揮し、効力は、データアクセス、インデックス構築、キャッシュ管理およびSQLエンジンコールに及びます。Mac OS Xプラットフォームのユーザであれば、Intelチップ搭載マシンにおける4D Server v11 SQLのネイティブパフォーマンスもまた嬉しいニュースです。

4D Server v11 SQLのパフォーマンスは、最適化されたネットワーク利用およびリモートクライアント/サーバ通信により、とりわけブロードバンド経由のWAN接続設定における向上が計られています。

「4D Server v11 SQLをワイドエリアネットワークで運用していますが、以前のバージョンと比較するとコンスタントに3倍から4倍のスピードを得ることができるのでほんとうに驚いています。」

—Orchard Software社 副社長 ジェフリー・ケイン 氏 (*Jeffrey Kain*)

クライアントアプリケーション、HTTP、そしてSQLで同時に多数のコネクションをハンドリングするサーバであっても、新デザインの管理画面であれば、容易に把握することができ、事実上、どの場所からでも遠隔操作をすることができます。多くの場合、メンテナンス中であってもユーザ接続を処理することができ、ダウンタイムを限りなくゼロに近づけることができるようになりました。

「4Dは、スタンドアロンからクライアント/サーバ環境への移行が簡単であり、導入効果を確認しながら進めていきたいお客様にはとても提案しやすいツールです。4D Server v11 SQLでは、再起動することなくサーバの検証ができ、もっと便利になりました。管理業務に要する時間が大幅に節約できるだけでなく、キャッシュがそのまま利用できるため、サーバのパフォーマンスが総合的に向上するのが魅力的です。」

—株式会社ぴーぶる 代表取締役 山崎 浩幸 氏

4D Server v11 SQLの標準価格は150,000円（消費税込）です。4D Serverバージョン2003または2004からのアップグレード、および1年間のmaintenanceプランも提供されています。

ライセンスは、株式会社フォーディー・ジャパン (www.4D-Japan.com/) より購入することができます。

4D SASについて

4Dは、ビジネスアプリケーションの開発や配付を効率化するための開発ツール、データベース、そして統合されたWebサーバソリューションを提供するソフトウェアメーカーです。フランスのパリに本部を置き、アメリカ合衆国・日本・英国・ドイツ・スウェーデン・スペイン・オーストラリアの各支社と40カ国に販売ネットワークを抱えています。

株式会社フォーディー・ジャパンについて

株式会社フォーディー・ジャパンは、1999年4月にフランス本社の100%出資により設立された日本法人で、日本におけるテクニカルサポート、セールスおよびマーケットの統括を行ないます。

この発表に関するお問い合わせ先：

株式会社フォーディー・ジャパン 154-0012 東京都世田谷区駒沢 1-17-17-4F

Tel: 03-5433-3461 - Fax: 03-5433-3462 - www.4D-Japan.com